

依存症対策の推進に係る平成29年度予算

28年度予算額

1.1億円

→

29年度予算

5.3億円

+地域生活支援促進事業34億円の内数

全国拠点機関における依存症医療・支援体制の整備

16百万円

→

60百万円

アルコール・薬物・ギャンブル等の依存症対策の『依存症対策全国拠点機関』（仮称）において、地域における指導者の養成（トレーナー研修）等を実施し、依存症医療・支援体制の整備を推進する。

地域における依存症の支援体制の整備

77百万円

→

449百万円

都道府県等において、『依存症専門医療機関』（仮称）の指定等による医療体制の整備を図るとともに、相談拠点の充実を図るなど、地域の支援体制づくりのための取組を推進する。

（主な取組の内容）

- ・依存症の専門医療機関の指定（平成28年度5か所 → 平成29年度全国67か所）
- ・精神保健福祉センター等への依存症相談員の配置（平成28年度0人 → 平成29年度67人）
- ・相談支援対応者、医療従事者等への研修 等

依存症に関する普及啓発の実施

16百万円

→

16百万円

アルコール・薬物・ギャンブル等の依存症になった者を早期に医療機関や精神保健福祉センターなどの相談窓口等につなげるため、依存症の正しい理解を広める啓発活動を行う。

アルコール・薬物・ギャンブル等の民間団体支援

地域生活支援促進事業34億円の内数

アルコール・薬物・ギャンブル等各依存症の関連問題に取り組む民間団体の支援を行う。